



2024.1.21^{SUN} 2.18^{SUN} 水曜日休館

会場 | 米子市美術館 第1展示室 ※受付は第2展示室

開館時間 | 午前10時～午後6時

観覧料 | 330 (270) 円 ※コレクション企画展Ⅲ洋画編「名品選」共通料金


※()内は15名以上の団体、Feel友の会・米子市歴史館友の会会員の方、とっとり子育て応援パスポート・しまね子育て応援パスポート、鳥取県ミュージアムネットワーク加盟館の会員証・年間パスポートなどをご持参の方の料金
※大学生以下の方、70歳以上の方、障がいのある方(付添1名含む)及び米子市美術館後援会会員の方は無料

主催：鳥取県アートミュージアム連携協議会
共催：米子市、米子市教育委員会、一般財団法人 米子市文化財団 米子市美術館

DRAWING
ドローイング アディクト
ADDICT!!

—ハマる素描

問い合わせ先

 米子市美術館

〒683-0822 鳥取県米子市中町12番地
Tel.0859-34-2424



DRAWING ADDICT!! —ハマる素描

「素描」と聞いて、どのようなイメージを抱くでしょうか。ものの形象を線描で表したものを指す仏語「デッサン (dessin)」が明治期に「素描」と翻訳されたことに遡りますが、戦後から一般に用いられるようになった英語「ドローイング (drawing)」の方が馴染みがあるかもしれません。しかしこの言葉が示す範疇は曖昧で、着想段階から構想、部分習作や、本画の一步手前の下絵までといった制作にかかわるものや、素描それ自体を完成作として丹念に仕上げたもの、生活の中で観察されたスケッチ、夢想的な描画、あるいは覚書等も含まれます。

展覧会では大々的に取り上げられる機会が少ないながらも、それらは描いた人の思考や内面がダイレクトに描き残された、いわば美術家に最も近い存在。今回は、鳥取県アートミュージアム連携協議会の共同企画展として、倉吉博物館、鳥取県立博物館、鳥取民藝美術館、日南町美術館、米子市美術館の所蔵品を中心として、素描の多彩な側面を紹介しつます。紙に残された美術家の生々しい手の痕跡を辿るうち、いつしかあなたも素描の世界にハマってしまうことでしょう。いざ、素描“沼”へようこそ！



1



2



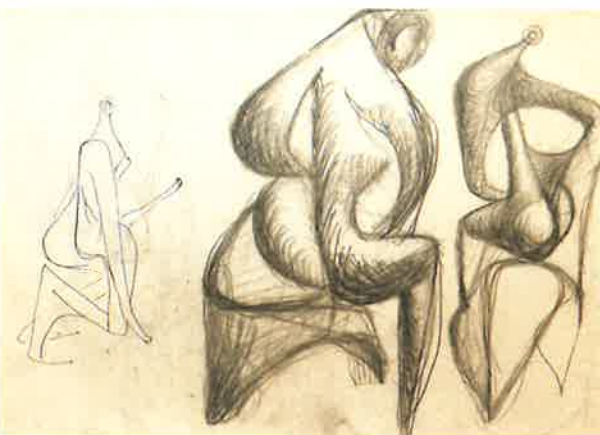
3



4



5



6

【交通案内】



JRご利用の場合

JR米子駅から約1,000m
JR米子駅前から各方面行きバス
(除/松江方面)
米子市役所前下車 (所要時間約5分)

お車の場合

米子自動車道・米子インターから約20分
(米子市役所所有料駐車場をご利用ください。
駐車カードを受付にお出しいただきますと
2時間以内無料処理をします。)
※当館横に身体障がい者用2台・
ハートフル駐車場2台を用意しています。



米子市美術館

〒683-0822 鳥取県米子市中町12番地
Tel.0859-34-2424 Fax.0859-33-0679
<http://www.yonagobunka.net/y-moa/>

1. 前田寛治《セザンヌ作ショケイ氏像》紙・墨、1923-25年、鳥取県立博物館蔵
2. 安岡信義《裸婦横臥像習作》紙・木炭、1929年、鳥取県立博物館蔵
3. 中井金三《バルヴェデーレのトルソ》紙・木炭、制作年不詳、倉吉博物館蔵

4. 伊谷賢蔵《フィレンツェ、ヴェッキオ橋》紙・鉛筆、制作年不詳、鳥取県立博物館蔵
5. 木山義喬《うずくまる男》紙・木炭、制作年不詳、米子市美術館蔵
6. 辻智堂《素描》紙・鉛筆・インク、制作年不詳、鳥取県立博物館蔵